

プロジェクトリーダー:金城学院大学 生活環境学部 北森一哉教授

事業実績調書

| | |
|--|---|
| (1) プロジェクト名 | 食生活改善を目指した食事指導 |
| (2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載) | <p>2018年度～2019年度(2年計画)の1年目</p> <p>【目的】 2017年度は食事調査方法の有効性を検討し簡易的な方法の有効性を示した。2018年～2019年度においては、地域住民への健康教室現場において、教室前後の食事摂取状況の変化及び教室間の違いを明らかにすることを目的とした。</p> <p>【成果】 2年計画の1年目であり、現在調査実施中であるため、経過報告となる。来年度の教室にて食事調査を実施した後、解析し、評価する予定である。2018年度における食事調査実施内容は、下のプロジェクト実施内容に記載する。</p> |
| (3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載) | <p>瀬戸市健康福祉部が開催する健康関連教室に参加させていただき、前半1回、後半1回それぞれ、簡易的に11種類の食品群の摂取状況を問うFDSK-11とエネルギー及び各栄養素の摂取量が算出できる簡易型自記式食事歴法質問票: brief-type self-administered diet history questionnaire (BDHQ-L) の2種類を実施した。途中の教室ではFDSK-11のみを実施した。また、一般的な話は講話で伝え、個人の食事摂取状況の結果は、対象者ご本人にお返しし現状を報告した。</p> <p>本調査は、金城学院大学ヒトを対象とする研究に関する倫理審査委員会の承認を得て実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">・高血圧関連教室(8月から6回開催教室)前半後半 実施19名・糖尿病関連教室(5月から6回開催教室)前半後半 実施18名・食に関するボランティア養成講座(9回開催教室)後半のみ 実施13名・ロコモティブシンドローム関連教室(1月から10回開催教室)前半実施 35名、後半3月実施予定・2019年度教室で実施予定 |
| (4) プロジェクトの今後の課題と展望 | <p>2年計画の途中であるため、残りの計画を遂行する。 評価は、計画終了後にする。</p> <p>2年計画の際、事前に書類の記載方法について事務局に確認すること。 スケジュールの調整が課題となるが、学生を巻き込んだ取組にしたい。</p> |